

なるほど!  
ザ・ファンド

Q & A

Vol.184

Q.

「世界債券」のみの資産運用に、「世界株式」を加えた場合のパフォーマンスは？

A.

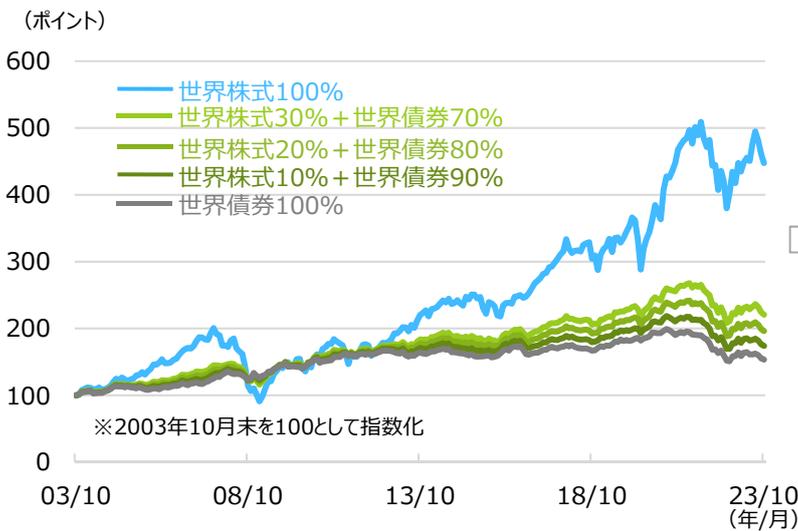
ポートフォリオのリスク水準を抑えつつ、リターンの向上が期待されます。

株式は債券に比べ、リスク（価格の振れ幅）が大きい資産です。しかし、「世界債券」90%に「世界株式」10%を加えて運用した場合には、「世界債券」100%で運用した場合と比べ、リスクはほぼ同水準でありながら、リターンが上昇しています（下グラフ参照）。このように、債券と併せて株式に分散投資することで、ポートフォリオのリスクを抑えつつ、より高いリターンが期待されます。

分散投資の有効性（米ドルベース）

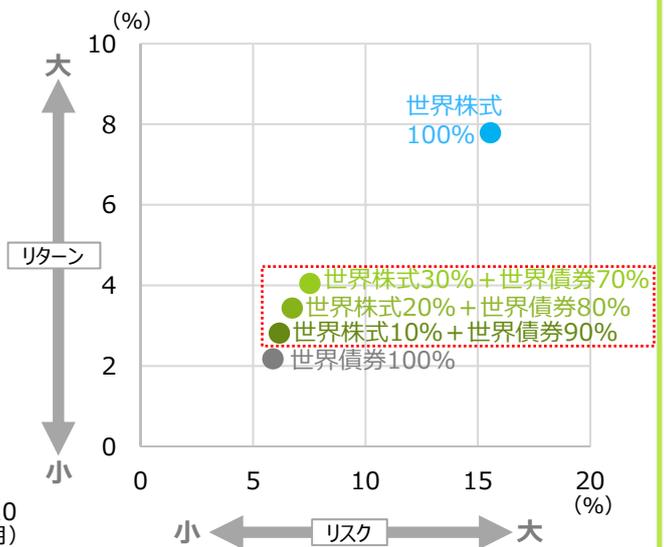
〈投資比率別パフォーマンス〉

2003年10月末～2023年10月末（月次）



〈投資比率別リスク・リターン〉

2003年10月末～2023年10月末（月次）



(注1) 世界債券はブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルベース）、世界株式はMSCI AC World Index（配当込み、米ドルベース）。

(注2) 分散投資は各月末にそれぞれの配分比率となるよう調整を行い算出。

(注3) リターン（年率）は当該期間の累積リターンを、リスク（年率）は月次リターンの標準偏差を年率換算して算出。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去のデータを基に当社が行ったシミュレーションの結果であり、実際の投資成果ではありません。一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

**【重要な注意事項】**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。